

事業所における自己評価総括表

公表

○事業所名	放課後等デイサービス ボムリ工			
○保護者評価実施期間	R7年 1月 25日 ~ R7年 2月 15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25名	(回答者数)	24名
○従業者評価実施期間	R7年 1月 25日 ~ R7年 2月 15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数)	11名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	レクリエーションの内容	座学や実技、季節に応じた季節を感じられるレクリエーションの内容やイベント等をバランスを考え取り入れている。 指先や体を動かすのレクリエーションを行う時は、その時々で児童に合った工程や難易度を調整し、前向きに取り組めるようにしている。	引き続き、興味や関心を持てる内容を熟考しながら取り組んでいく。
2	保護者様への対応	家や学校や施設で見せる表情や行動が異なること多いため、施設での様子をできる限り詳細に記入し、保護者様へ伝えている。また、保護者様からの相談や申し入れについては施設内で共有し対策等を検討したうえで、必要に応じて連絡帳や電話、面談の機会を設け、困り事を共有し対応している。	特性や性格、取り巻く環境等をしっかりと把握し、適切な対応ができるよう職員間で密に情報共有をしている。
3	職員間の情報共有	前日や当日にあった事象や保護者様からの相談や申し入れなど、都度、共有・周知している。 児童の様子を観察したうえで情報交換し取りまとめ、児童への対応方法や保護者様への対応内容等を検討し、対応している。	職員間で意見の出しやすい環境の構築を心がけ、少しの気づきでも共有し合うようにしている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流	児童が成長するにつれ、より社会性を求められていくので地域資源を活用し、小さなコミュニティから社会との関わりが持てるようになるのが望ましいが、コロナ禍でのイベント減少に伴い、地域イベントへの参加が選択肢から外れていた期間が長くあり、地域イベント開催の情報収集ができていなかった。	積極的に地域資源やイベントの情報収集を行い、活用していく。
2			
3			